

令和5年度

事業計画書
収支予算書

公益財団法人広島市農林水産振興センター

目次

第1 事業計画書	
I 基本方針	
II 事業計画	
1 農業の振興（公益目的事業1）	1
(1) 調査及び試験研究	1
(2) 担い手の育成・支援	2
(3) 農業への理解の促進	5
2 林業の振興（公益目的事業2）	9
(1) 森林の保全・整備	9
(2) 担い手の育成・支援	9
(3) 林業への理解の促進	10
3 水産業の振興（公益目的事業3）	11
(1) 調査及び試験研究	11
(2) 担い手の育成・支援	13
(3) 水産業への理解の促進	14
4 収益事業	15
自動販売機設置事業	15
第2 収支予算書	
収支予算書	16
収支予算書内訳書	18

第1 事業計画書

令和5年度 公益財団法人広島市農林水産振興センター事業計画書

I 基本方針

広島市における農林水産業等の振興を図るとともに、農山漁村地域の持つ公益的機能を活用した事業を推進し、もって活力ある農山漁村地域の確立と健康で豊かな市民生活の向上に寄与する。

II 事業計画

公益目的事業及び収益事業として、次の事業を実施する。

1 農業の振興（公益目的事業1） <予算額：105,780千円>

(1) 調査及び試験研究 <予算額：37,670千円>

栽培技術等に関する調査及び試験研究 <予算額：37,670千円>

農業経営における収益性の向上と農業生産の維持・増大を図るため、市内農家の経営改善に係る栽培技術等に関する調査及び試験研究を実施する。

(ア) 先進事例等の調査

栽培技術等に関する県内外の先進事例等を調査し、技術の蓄積を図る。

区分	件数
先進地事例調査	3件

(イ) 野菜・花き等の栽培試験

先進事例等の調査や市場の動向等に基づき、認定農業者等や直売農家など幅広い経営体向けの野菜・花き等の栽培試験を実施する。

- ・葉菜類・果菜類等の収益性の高い優良品種の選定と栽培技術・経営モデルの確立
- ・環境にやさしい栽培技術の効果検証
- ・直売所向け有望品種の栽培展示
- ・ICTを活用した生産管理システムやJGAP認証施設等の実証展示

(ウ) 土壌診断

農家ほ場等の定期的な土壌診断を実施し、農作物の生育障害の防止や資材費等のコスト低減を促進する。

区分	件数	内容
農家ほ場	1,500件	pH、ECのほかリン、カリウム、カルシウムなど6項目の成分分析に基づく診断
センター試験ほ場	100件	

(エ) 優良種苗の生産供給

生長点培養等の園芸バイオ技術を活用し、個性的な野菜や地域特産品種等の優良種苗を市内農家へ生産供給する。

サツマイモ、スイゼンジナなどの苗 1,780本

(オ) 農業振興センターの維持管理

農業振興センターの概要

敷地面積 16,147㎡

施設概要 事務所棟、研究棟（土壌分析室、バイテク室）

試験ほ場（ビニールハウス、ガラス温室等 29棟）

(2) 担い手の育成・支援 <予算額：14,298千円>

ア 新たな担い手の育成 <予算額：7,215千円>

農業従事者の減少と高齢化が進展する中、新たな担い手を確保し、新鮮で安心な農産物の市民への安定的な供給を行うため、就農相談窓口の運営や担い手育成研修の開催等により新規就農希望者の円滑な就農を支援するとともに、就農後の営農支援や6次産業化の促進により農業生産の安定化を図り、地域農業を支える担い手として育成する。

(ア) 就農相談

広島市内への新規就農希望者の一元的な相談窓口となる「広島市就農相談窓口」を運営し、就農に関するビジョンの明確化や栽培技術の習得、就農地の紹介などの一連の支援を市と連携して行うことで、新規就農希望者の円滑な就農を支援する。また、就農に関心のある市民を対象とした休日等の体験講座を開催し、新規就農希望者の拡大を図る。

(イ) 担い手育成研修

広島広域都市圏の連携市町や県、JA等と連携して栽培技術や農業経営等に関する研修等を開催するとともに、就農後の営農を支援し、他産業並みの所得が確保できる“ひろしま活力農業”経営者や直売所などへの出荷を目指す生産販売農家など、多様な担い手を育成する。

※広島広域都市圏の連携市町とは、竹原市、大竹市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、熊野町、坂町、安芸太田町、世羅町及び山口県和木町の11市町

【育成研修】

区分	受講人数	研修内容	備考
“ひろしま活力農業”経営者	25期生 1人	就農予定地での農業経営の 実地研修 (8カ月)	
	26期生 1人	栽培技術や農業経営に関する 基礎研修 (1年)	
生産販売農家育成 コース	令和5年度生 9人	栽培、出荷・販売技術と 経営に関する研修 (1年)	広島市～4人、熊野町～2 人、竹原市・大竹市・廿 日市市～各1人が就農予 定
栽培技術基礎コース	令和5年度生 4人	栽培、出荷・販売技術に 関する研修 (1年)	広島市～3人、江田島市 ～1人が就農予定

【就農後の営農支援】

区分	対象者数	支援内容
“ひろしま活力農業” 経営者	1～25期生 46人	経営品目の拡充に向けた種子提供と栽培技術の習得支援
「スローライフで夢づくり」新規就農者	1～18期生 112人	営農支援講習会の開催
ふるさと帰農者	1～17期生 188人	
“チャレンジ女性” 農業者	1～13期生 60人	

(ウ) 農地利用集積円滑化

農地貸借の権能を持つ旧農地利用集積円滑化団体として中間保有中の農地について、農地中間管理事業へ移行するまでの間、引き続き担い手への利用集積を実施する。

区分	集積人数	集積面積
“ひろしま活力農業” 経営者	4人	37,529㎡

(エ) 6次産業化の促進

生産者グループを対象とした農産物加工や新商品開発等に関する講習会の開催等により、担い手の生産意欲を高め所得向上を図る。

区分	内容
講習会の開催	農産物加工や新商品開発等に関する講習会 3回
専門講師の派遣	6次産業化アドバイザーの派遣 5回

イ 畜産振興 <予算額：6,923千円>

市民へ市内産畜産物を安定的に供給するため、市内における畜産業の産地育成を推進するとともに、家畜の疾病予防や改良・増殖、畜産物の品質向上に取り組む、畜産農家の経営の安定化を支援する。

(ア) 産地育成

佐伯区湯来町における酪農産地の維持発展に向け、生産性の向上やブランド力の強化に関する取組を支援する。

また、新たな和牛産地の形成を図るため、畜産関係団体等と連携した市内産和牛のブランド化・農家の組織化等の支援を実施する。

区分	件数
経営改善研修会開催	3件

(イ) 家畜診療等

飼養技術に関する巡回指導及び疾病の発生予防と早期発見、治療等の家畜診療等を実施し、家畜の損耗防止と畜産物の品質向上を図る。

区分	対象	内容
家畜診療等	畜産農家 19経営体	巡回指導 畜舎の衛生保持等の飼養環境の改善、適切な飼料給与、排せつ物の適正処理、畜産物の増産・品質向上に関する技術指導
		家畜診療等 疾病の発生予防と早期発見、治療 600件 無血去勢・除角 45件

(ウ) 家畜の改良・増殖

人工授精及び受精卵移植による家畜の改良・増殖を計画的に実施し、畜産物の品質の向上と生産コストの低減を図る。あわせて乳牛での和牛子牛増殖を推進し、高付加価値型酪農による収益性の向上を図る。

区分	件数
人工授精	160件
体内受精卵採取	10件
体外受精卵作成	15件
受精卵移植	40件

ウ 広島市農業経営改善支援センターの運営 <予算額：160千円>

認定農業者等の農業経営の安定化を図るため、広島市農業経営改善支援センターの運営を行い、経営改善に関する支援等を実施する。

(ア) 経営改善に関する支援

農業経営改善計画等の計画作成の支援や経営改善に関する研修会の開催等により認定農業者等の経営改善を支援する。

区分	対象	内容
計画作成支援	認定農業者 105経営体	農業経営改善計画 25件 (新規取得 3件、再認定 22件)
	認定新規就農者 19経営体	青年等就農計画 1件 (新規取得)
研修会等の開催	認定農業者等 124経営体	販売戦略等の経営改善に関する研修会開催 1回 先進的な栽培技術等の情報発信

※認定農業者等の経営体数は令和5年3月末現在

(イ) 広島市認定農業者協議会の運営支援

広島市認定農業者協議会の運営を支援し、認定農業者等の所得の向上と連携強化を図る。

支援内容 総会の開催 1回

(3) 農業への理解の促進 <予算額：53,812千円>

ア “ひろしまそだち” 地産地消推進 <予算額：5,717千円>

「市内産、新鮮、安心」な“ひろしまそだち”製品の消費拡大を図るため、イベント等でのPR活動や各種体験会の開催等を通じて“ひろしまそだち”の魅力と地産地消の重要性に関する市民の理解を促進し、“ひろしまそだち”製品の地産地消を推進する。

(ア) “ひろしまそだち”のPR

イベント等でのPR活動や各種媒体を活用した情報発信により、“ひろしまそだち”に関する市民の認知度を向上する。

区分	内容
イベント等でのPR	ひろしまフードフェスティバル等での产品介绍と料理の提供など 青果商等での試食販売、生産者及び产品介绍用POPの作成、市内産和牛肉を使用した弁当の販売
情報発信	情報誌“ひろしまそだち”だよりの発行 SNSやホームページでのレシピ動画等の配信

(イ) 体験会等の開催

市民が食の大切さや農業・農村の重要性を考える機会とするため、手軽に野菜づくりや搾乳等が経験できる体験会等を開催する。

区分	内容
体験会	エダマメの食農体験 エダマメの定植・収穫、調理体験 2回
	ジャガイモの食農体験 ジャガイモの定植・収穫、調理体験 2回
	畜産体験 搾乳体験 2回
講習会	畜産教室 畜産業・畜産物に関する講座 2回

(ウ) ボランティアの育成・活動支援

“ひろしまそだち”に関する市民の理解を効果的に促進するため、PR活動等に携わるボランティアを育成し、活動を支援する。

【育成研修】

区分	受講人数	研修内容
食農コーディネーター	11期生 6人	2年目研修 (全2年間) 食農体験、市場・生産農家視察など 9回

【活動支援】

区分	対象者数	支援内容
食農コーディネーター	1～10期生 49人	“ひろしまそだち”のパネルやグッズの貸出し PR活動で使用する野菜の提供 フォローアップ研修の開催 2回
“ひろしまそだち” 野菜アドバイザー	1～11期生 74人	

※食農コーディネーターとは、市民を対象とした食農体験等の企画・運営に携わるボランティア、“ひろしまそだち”野菜アドバイザーとは、料理教室やイベントなどで“ひろしまそだち”製品の普及啓発に携わるボランティア

(エ) 「ひろしまそだち」地産地消協力店の活動支援

“ひろしまそだち” 産品を取り扱う小売店・飲食店等を「“ひろしまそだち” 地産地消協力店」として登録し、これら店舗が行う“ひろしまそだち”のPR活動を支援する。

支援内容 “ひろしまそだち”のパネルやグッズの貸出し、PR活動で使用する野菜の提供

(オ) 「ひろしま朝市」の開催支援

市民と生産者が交流する貴重な場である「ひろしま朝市」の魅力を向上するため、ひろしま朝市実行委員会の企画・運営を支援する。

支援内容 ひろしま朝市のPR、出店者調整、イベントの企画

ひろしま朝市の概要

開催場所 中区富士見町（平和大通り南側緑地帯）

開催日時 毎週日曜日 8時15分から

(カ) “ひろしまそだち”地産地消推進協議会の運営

生産者、流通業者、消費者及び行政機関等の関係団体で構成する“ひろしまそだち”地産地消推進協議会の運営を行い、“ひろしまそだち”の地産地消を効果的に推進する。

推進協議会の開催 1回

イ 農業体験の促進 <予算額：48,095千円>

農業への市民の理解を促進するため、自然にふれあいながら各種体験ができる場を市民に提供する。

① 花みどり公園 <予算額：28,091千円>

自然にふれあいながら花木や草花、園芸に関する市民の知識を深めるため、四季を通じて花木等の栽培展示や、花づくり等の各種講座を開催するとともに、花木等に関心の高い市民をボランティアとして育成し、魅力的な公園運営を推進する。

【花木や草花の栽培展示】

約170品種、5,500本のシャクナゲなど

【イベント等の開催】

区分	内容
春のシャクナゲ ふれあい祭り	シャクナゲの展示、ボランティアによる公園案内（4月8日～4月29日）
はなづくり講座	季節の草花の寄せ植えなど 11回
みどりづくり講座	庭木や果樹の剪定や手入れ 7回
シャクナゲ講座	シャクナゲ栽培の基礎 4回
体験教室	果樹の収穫とジャムづくり体験、ハンドメイド体験 7回

【市民ボランティアの育成】

花みどり公園内の施設の維持管理及びイベントや講習会等の企画運営等をサポートするボランティア（ファンクラブ）の募集及び育成を行う。

花みどり公園の概要

敷地面積 92,503㎡

施設概要 管理棟、ガラス温室など 4棟

花木見本展示園、ドッグランなど

② ひろしま市民の里@安佐 <予算額：5,301千円>

市民の「食」と「農」や自然環境保全の大切さに関する理解を促進するとともに、交流による賑わいを創出するため、市民や地域団体などが主体となって企画運営する野菜づくりや里山づくりなどの農林業体験の場を提供する。

【ひろしま市民の里@安佐運営協議会の運営】

運営協議会の開催 1回

【農林業体験等の開催】

区分	内容
農林業体験	森林整備体験、野菜作り体験、ハーブ講習など 28回
自然観察会	動植物の観察など 3回

【施設整備】

区分	内容
景観等整備	景観作物（コスモス等）の植栽ほか
遊歩道の整備	横断溝設置、上置碎石

③ 広島市市民農園 <予算額：12,000千円>

市民の農業及び農村に関する理解を促進するとともに、健康的でゆとりある市民生活の確保を図り、あわせて農村地域の振興に資するため、手軽に農作物の栽培体験ができる農園を管理運営するとともに、都市農村交流会等のイベントを開催する。

【管理運営】

区分	内容
入退園事務	利用者募集、使用許可、利用料金の徴収など
地元管理組織の支援	運営委員会の開催支援など

【都市農村交流会等の開催】

区分	内容
見張市民農園	ケチャップ作りや収穫祭、栽培講習会など 6回
三田市民農園	梅ジャム作りや収穫祭、栽培講習会など 6回
三国市民農園	収穫祭と栽培講習会 3回

広島市市民農園の概要

農園名	貸付区画数	貸付区画の内容	付帯施設
見張市民農園	178区画	一般区画 (50㎡) 173区画 福祉区画 (車椅子用プランター) 5区画	管理棟、駐車場78台、給水施設など
三田市民農園	112区画	一般区画 (50㎡) 106区画 大型区画 (100㎡) 2区画 福祉区画 (車椅子用プランター) 4区画	管理棟、駐車場31台、給水施設など
三国市民農園	137区画	一般区画 (25㎡) 135区画 福祉区画 (車椅子用プランター) 2区画	駐車場44台、給水施設、休憩所など

④ 広島市市民菜園及び広島市市民体験農園 <予算額：2,703千円>

農業への市民参加を促進するため、農家が遊休農地等を活用して開設した菜園等の管理運営を行うとともに、菜園利用者等を対象とした栽培講習会等を開催する。

【管理運営】

区分	内容
入退園事務	利用者募集、貸付契約事務の補助など
施設の維持管理	空き区画の保全管理、簡易な設備の修繕など (市民菜園に限る)

【栽培講習会等の開催】

区分	内容
栽培講習会	春夏野菜や秋冬野菜の栽培管理に関する講習会 8回
ほ場見学会	農業振興センターほ場の見学 1回

広島市市民菜園及び広島市市民体験農園の概要

区分	菜園数	貸付区画数	貸付区画の内容	付帯施設
市民菜園	35	2,145区画	貸付区画 (10㎡) 2,145区画	給水施設など
市民体験農園	1	62区画	個人体験区画 (10㎡) 61区画 共同体験区画 (2,230㎡) 1区画	給水施設など

2 林業の振興（公益目的事業2） <予算額：89,767千円>

(1) 森林の保全・整備 <予算額：87,794千円>

森林整備の推進 <予算額：87,794千円>

森林の持つ水源のかん養や土砂災害の防止、二酸化炭素の吸収などの公益的機能を将来にわたって維持・増進するため、広島市市有林等の適正な森林整備等を推進し、健全な森林を育成する。

(ア) 市有林等の整備

広島市市有林及び広島市分収林について、「森林経営計画」等に基づき計画的な森林整備を実施する。

区分	整備内容
広島市市有林	利用間伐 11.84ha、作業道開設 900m、境界データ変換 1地区
広島市分収林	除伐・枝打ち・間伐 46.13ha、境界データ変換 1地区

(イ) 太田川源流の森整備

広島市水道局が所有する廿日市市吉和の太田川源流の森について、「太田川源流の森整備基本プラン」に基づき計画的な森林整備等を実施する。

区分	整備内容
太田川源流の森	森林整備：除伐 0.08ha、間伐 13.93ha 啓発活動場所の整備：歩道等刈払 1.78ha、除伐 2.50ha 境界歩道等の維持補修

(ウ) 適正な森林管理の促進

森林所有者自らが管理できない森林について、「広島市の森林経営管理推進事業の実施方針」に基づき森林の所有者や森林境界等に関する調査を実施し、意欲と能力のある林業経営者による適切な林業経営に誘導する。

調査地区	対象面積	内容	
佐伯区湯来町	多田地区63林班ほか3	124ha	経営管理権集積計画の作成及び同意取得
	多田地区43林班ほか3	134ha	森林現況調査、アンケート調査、地元説明会開催
	多田地区27林班ほか14	718ha	森林所有者調査
安佐南区沼田町	阿戸地区44林班	35ha	森林境界の明確化

(2) 担い手の育成・支援 <予算額：1,625千円>

新たな担い手の育成 <予算額：1,625千円>

市民による適切な森林整備を促進するため、施業技術に関する林業研修等の開催により、森林整備に携わる人材を育成する。

(ア) 半林半X移住者支援

中山間地域への移住者を、自ら森林を育て、管理し、林業経営を行う自伐林家として育成するため、森林・林業についての知識や技術習得等に関する林業研修を開催する。

区分	受講人数	研修内容	備考
半林半X移住者	2期生 1人	3年目研修 (全3年間) 上級研修 (6月末修了予定)	安佐南区沼田町 戸山地区に移住

(4) 自伐林業担い手支援

森林所有者や地域住民等が自ら行う森林整備を促進するため、安全な間伐作業や未利用材の搬出作業等の技術講習会を開催する。

区分	内容
ロープウインチによる間伐・搬出講習会	立木の伐採及び間伐材の集積・搬出の実習 (2日間) 2回
バックホウによる自伐林業講習会	作業道の開設、立木の伐採及び間伐材の集積・搬出の実習 (2日間) 2回
チェーンソー講習会	チェーンソーによる伐木等特別教育 (2日間) 1回
刈払機講習会	刈払機安全衛生教育 1回

(3) 林業への理解の促進 <予算額：348千円>

市民参加の森林づくりの推進 <予算額：348千円>

森林・林業に関する市民の理解を促進するため、森林づくりに関する指導者の育成と市民参加の森林づくり事業を市や森林組合等と連携して推進する。

(ア) 里山整備士養成

市民ボランティアや地域住民等による健全な里山再生活動を促進するため、指導者となる広島市里山整備士の活動を支援する。

区分	対象者数	支援内容
広島市里山整備士	1~11期生 35人	森林整備活動団体等への広島市里山整備士の派遣 フォローアップ研修の開催 3回 広島市里山整備士会の運営

(イ) 市民参加の森林づくり事業

市民が森林づくり活動に自発的に参加する動機付けと気軽に参加できる緑とのふれあいの場を通じて、森林・林業に関する市民の理解を促進するため、市民参加の森林づくり実行委員会が行うボランティアの育成等の取組の企画・運営を支援する。

【育成講座】

区分	募集人数	内容
もりメイト	28期生 30人以内	間伐や植林の実習など 8回

※「もりメイト」とは、市民による森林づくり活動の先導的役割を担うボランティア

【その他の取組】

区分	内容
女性のための森林づくり入門体験講座の開催	森の健康診断や木の伐採、自然観察など 2回
森林整備活動用具の貸出し	森林整備活動を行う団体への用具の貸出し
ひろしま「森の市」の開催	広島市森林公園での森林ボランティア団体の活動紹介や林業体験、木製品・森の産物の展示販売など
市民参加の森林づくり実行委員会の運営	総会等の開催 2回

3 水産業の振興（公益目的事業3） <予算額：62,759千円>

(1) 調査及び試験研究 <予算額：5,790千円>

ア 増殖・養殖に関する調査 <予算額：1,702千円>

養殖等に関する指導に必要な情報を把握するため、カキ稚貝の付着状況、ノリ・ワカメの生育状況、アサリ稚貝の分布状況等の調査を実施する。

(ア) カキ養殖に関する調査

区分	時期	地点数等	内容
カキ採苗調査	6月～8月	17地点	カキ幼生の分布状況やカキ稚貝の付着状況の調査、採苗不調の原因究明のための調査・研究（国や広島県、漁業団体、広島市と共同実施）
害敵生物調査	ムラサキガイ 4月～6月、 1月～3月	11地点	カキの成育不良の原因となる害敵生物の付着状況等の調査
	稚ガキ、 フジツボ 9月	4地点	
	カサシロガイ類 9月～11月	2地点	
抑制棚調査	9月～10月、 2月～3月	似島地先 等	抑制棚におけるカキ稚貝の管理方法等を把握するための調査
出荷サイズ調査	4月～5月、 10月～3月	9経営体	カキの成育状況、出荷動向等を把握するための調査
養殖後の耐久性調査	通年	弁天島地 先等	環境に配慮した高耐久性資材で作成した養殖後の導入を検討するための調査（漁業団体と共同実施）

(イ) ノリ・ワカメ養殖に関する調査

区分	時期	地点数	内容
ノリ	11月～2月	1地点	養殖海域の環境調査、生育及び食害状況等の調査
ワカメ		4地点	

(ウ) アサリ漁業に関する調査

漁獲量が減少しているアサリ資源を増殖するため、天然種苗の活用等を検討するための調査を実施する。

区分	地点数	内容
稚貝分布状況等調査	3地点	天然種苗を確保するための稚貝の分布状況等の調査
害敵生物調査	1地点	アサリの成育不良の原因となる害敵生物（ホトトギスガイ）の生息状況等の調査

イ 漁場環境に関する調査 <予算額：1,422千円>

カキ等の成育に影響を及ぼす漁場環境を把握するため、広島湾における水質等の調査を実施する。

広島湾漁場環境調査

区分	地点数	内容
水質調査	8地点	広島湾北部海域及び大黒神島海域における水温やカキ幼生の餌となる微細な植物プランクトン等の調査
底質調査	5地点	広島湾北部海域における底質の全硫化物量等の調査 (時期：8月、2月)
有害プランクトン調査等	3地点	魚介類のへい死や二枚貝の毒化を引き起こす恐れがある有害プランクトンの調査、貝毒等検査の検体の採取

ウ 水産資源に関する調査及び試験研究 <予算額：2,666千円>

海面及び内水面の資源増殖に関する指導の基礎資料とするため、放流魚等の漁獲実態を把握する調査や、新たな資源増殖に関する調査及び試験研究を実施する。

(ア) 漁獲実態等調査

区分	内容
漁獲実態調査	漁業者への漁獲魚種や漁獲量、市場への出荷状況等の聴き取り調査 (回数：4回、対象者数：5経営体)
種苗放流効果調査	

(イ) 資源増殖に関する調査及び試験研究

区分	内容
ナマコ資源増殖試験	漁獲量が減少しているナマコ資源の増殖を図るために行う種苗の生産・放流、放流効果の検証に関する調査
アユ資源増殖に関する調査	太田川再生方針に基づくアユ資源を増やす取組の効果検証のために行う、高瀬堰下流域におけるアユの産卵数や産卵環境の調査等
カワウ対策に関する調査等	魚類の食害が深刻化しているカワウ対策として実施する胃内容物の調査やねぐらへのテープ張り等
シジミ資源状況等調査	太田川再生方針に基づくシジミ資源を増やす取組の効果検証のために行う、シジミの資源状況等の調査 (時期：5月、10月、地点数：19地点)
藻場造成試験	稚仔魚が成育する場である藻場の造成方法を検討するために行う種苗の生産、造成試験等

(2) 担い手の育成・支援 <予算額：55,301千円>

ア 漁業技術の普及指導等 <予算額：3,320千円>

生産量の増加や品質の向上等により、漁業収入の安定化を図るとともに、市民へ新鮮な魚介類を安定的に供給するため、漁業者に対し、調査及び試験研究の結果を基にした指導や販売支援を実施する。

(7) カキ等養殖に関する指導

カキ採苗調査や広島湾漁場環境調査等の結果を取りまとめ、広島市内の漁業団体をはじめ、関係者へ情報提供するとともに、各種調査結果を基に養殖指導や研修会を実施する。

(4) アサリ、その他漁業に関する指導

アサリ稚貝分布状況等調査や広島湾漁場環境調査等の結果を取りまとめ、広島市内の漁業団体へ情報提供するとともに、各種調査及び試験研究の結果を基に技術指導を実施する。

(ウ) 販売支援

漁業収入の安定化や地産地消の推進を図るため、漁業者が実施するひろしま朝市等での販売を支援する。

イ つくり育てる漁業の推進 <予算額：51,981千円>

海面及び内水面における水産資源を維持増大することにより、漁業収入の安定化を図るとともに、市民へ新鮮な魚介類を安定的に供給するため、種苗生産等を実施する。

(7) 種苗生産

次のとおり種苗を生産し、広島市に引き渡す。

種類	計画数量	大きさ等	生産期間
ア ユ	70万尾	0.5g以上	9月～2月
マコガレイ	10万尾	30mm以上	12月～5月
ア イ ナ メ	1万尾	60mm以上	12月～4月
ガ ザ ミ	20万尾	稚ガニ3令以上	5月～9月
モクズガニ	40万尾	稚ガニ1令以上	4月～8月
ワ カ メ	8,000m(種糸)	幼芽3mm以上	4月～12月

(イ) フリー配偶体によるワカメ種苗生産技術開発試験

品種改良が容易で、かつ種苗生産の省力化等が可能なフリー配偶体の技術を用いて種苗生産試験や養殖試験を実施する。

(ウ) マコガレイ種苗増産に向けた生産技術開発試験

広島広域都市圏内の漁業団体等から配布要望のあるマコガレイ種苗の増産に向け、計画数量10万尾の種苗生産に加え、水槽の形状や水の流れなどが異なる水槽において、種苗生産試験を実施する。

(エ) 種苗放流指導

漁業関係者を対象に、種苗放流、資源管理、栽培漁業技術等の指導や研修会を実施する。

(オ) 水産振興センターの維持管理

水産振興センターの概要

敷地面積 9,958㎡

施設等概要 本館棟、ガザミ槽棟、飼育棟等 15施設
指導船(第九市水丸、なきり丸、つくね)

(3) 水産業への理解の促進 <予算額：1,668千円>

学習会の開催等 <予算額：1,668千円>

市民の水産業への理解の促進を図るため、関係団体の協力を得ながら、学習会等を実施する。

(7) 体験学習会

区分	内容
海辺の教室	水産業や生物に関する体験学習会 開催日：5月を除く毎月第3日曜日 対 象：小学校3～6年生とその保護者(公募15組以内/回) テーマ：カキ養殖、太田川と広島湾～アユの一生～、プランクトンの観察、魚のおろし方、かまぼこ作りなど
海と漁業の体験 スクール	カキ打ち体験、干潟の生物観察及び種苗の放流体験 対 象：小学校や子供会等の団体

広島かき子ども 体験隊	カキ養殖作業の体験学習会（漁業団体と共同実施） 対 象：小学校3～6年生とその保護者（公募15組以内） 時期等：9月～10月：カキ養殖学習会、通し替え体験 3月：収穫作業見学、カキ打ち体験等
----------------	--

(イ) 水産関係イベント

漁業団体が開催する広島市水産まつり等の水産関係イベントに協力し、市民の「広島市の漁業」や「つくり育てる漁業」への理解の促進や魚食普及を図る。

(ウ) 水産業に関する情報の提供

区分	内容
施設の一般公開	資料展示室の一般公開、カキ養殖など広島市の水産業の説明、種苗生産施設の案内等
情報の提供	ホームページや動画共有サイト等を活用した水産業に関する情報の提供、カキ養殖などの漁業に関する研修会や潮干狩りなどの体験学習会への講師の派遣

4 収益事業 <予算額：284千円>

自動販売機設置事業

施設利用者の利便性の向上を図るため、飲料水自動販売機を設置する。

設置場所	台数
農業振興センター	1台
花みどり公園	2台
見張市民農園	1台
三田市民農園	1台
水産振興センター	1台